

読売新聞 きょう（9月8日）のイチ押し

1面 コロナ 自宅療養 外出可能に マスクで短時間

加藤厚生労働相は7日、新型コロナウイルス感染による自宅療養期間中の外出制限を緩和すると発表しました。岸田首相が6日発表した療養期間の短縮と合わせて、7日から適用を開始しました。

- ★ 今後は、無症状者は療養期間の初日から、症状がある人は薬なしで解熱し、症状が改善する「軽快」から24時間経過後、外出が可能になります。
- ★ マスク着用や公共交通機関を利用しないことが条件で、食料品や生活必需品の買い物など必要最小限の外出のみ認められます。

1面、社会面 本紙に新聞協会賞 五輪汚職報道

日本新聞協会は7日、今年度の新聞協会賞、新聞技術賞、新聞経営賞を発表しました。優れた報道に贈られる新聞協会賞では、読売新聞東京本社・五輪汚職事件取材班の「『五輪汚職事件』を巡る一連のスクープ」など6件が受賞しました。

- ★ 本紙は7月20日朝刊で、東京五輪・パラリンピックの大会組織委員会元理事とスポンサーだった紳士服大手「AOKI ホールディングス」側で不透明な資金のやりとりがあり、東京地検特捜部が捜査していることを報じました。特捜部は8月17日、元理事を受託収賄容疑で逮捕しました。
- ★ 読売新聞東京本社は新聞技術賞でも「Auto-Printing AI活用による輪転機自動運転とスキルレス化を目指して」が受賞しました。

他紙と比べて

読売新聞大阪本社は、農業に関わる人々を応援し、持続可能な未来を考える「農プロジェクト」を始めます。記事やイベントなどを通して、日本の農業の課題や魅力を伝え、活性化につなげていくのが狙いです。都市と地方を結ぶ全国紙として、「食」や「農」、「暮らし」に関わる幅広い情報を伝えていきます。ご期待ください。